11 月は、オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンです！

令和８年度標語

『　189（いちはやく）　気づいたあなたに　できること　』

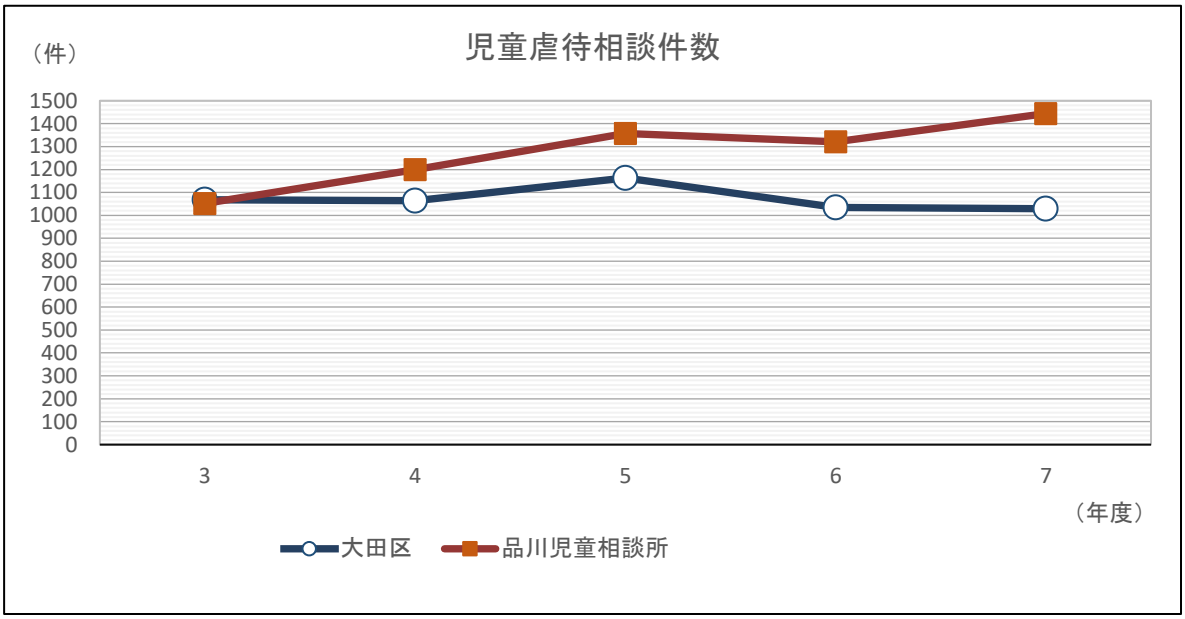
１　子どもを虐待から守るための５か条（厚生労働省リーフレット抜粋）

（１）　「おかしい」と感じたら迷わず連絡通告（通告は義務です）
（２）　「しつけのつもり…」は言い訳（子どもの立場で判断します）
（３）　一人で抱え込まない（あなたにできることから即実行）
（４）　親の立場よりも子どもの立場（子どもの命が最優先）
（５）　虐待はあなたの周りでも起こりうる（特別なことではありません）



オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

２　虐待相談の状況



７年度
品川児童相談所
1，444 件
（6 月時点速報値）

大田区
1，029 件

３　今年度の主な取組み

広報啓発活動

（１）横断幕（児童館・区立保育園等の約 100 施設）、懸垂幕（本庁舎・地域庁舎）の掲出
　　期間：令和８年 11 月１日（日）～11 月 30 日（月）
（２）区報等への掲載
　　①区報 11 月１日号掲載
　　②区設掲示板へのポスター掲示、区ホームページ掲載
（３）おおたこども家庭センターパンフレット、啓発用クリアファイル等の配布（区内各保育施設、児童館、小学校、イベント等）

（裏面あり）

（4）オレンジリボンたすきリレー2026　令和８年10月18日（日）（都心・川崎コース）
　　リレーの中継地点　大森スポーツセンター

４　相談先

児童虐待やその疑い・おそれ等、気になるこども、心配な家庭に気づいた際には、以下の相談先へご連絡ください。

おおた児童虐待対応ダイヤル：＃９９２４（シャープ キューキューツーホー）または03-5753-9924

児童相談所虐待対応ダイヤル：１８９（いちはやく）

おおたこども家庭センターでは、こどもと家庭の抱える問題や不安、悩みについて、電話や来所相談を実施していますので、お気軽にご連絡ください。

おおたこども家庭センター：03-5753-7830（ナヤミゼロ）

【問合先】
おおたこども家庭センター
事業調整担当
電話　6410－8551

気になるこども、家庭を見かけたら

こどものことを一番に考えて、連絡（通告）してください。
あなたの秘密は守ります。

こどもが虐待を受けているという確信がなくても、「もしかしたら虐待かも…」と思ったら、連絡（通告）してください。

「児童虐待の防止等に関する法律」では連絡（通告）が義務になっています。
連絡（通告）は匿名で行うことも可能です。
連絡（通告）者や連絡（通告）内容に関する秘密は守ります。
また、虐待でなかったとしても、連絡（通告）者に責任はありません。

連絡（通告）の際のポイント

- 発見した（気づいた）日時
- こども・保護者について
  （わかっていれば、氏名、年齢、住所など）
- 虐待のおそれがあると思った状況
  （誰が、いつ、どのようなことをしているのかなど）
- 可能であれば、あなたの情報
  （氏名、連絡先、住所など）

「連絡（通告）の際のポイント」を参考に、わかる範囲で
おおた児童虐待対応ダイヤル「＃9924」へ ご連絡ください。
「おおたこども家庭センター」または
「東京都大田児童相談所」が調査・対応します。

連絡（通告） → **調査** → **対応**

※児童虐待への対応は、児童福祉法及び児童虐待の防止等に関する法律に基づき行っています。

QR Translator

Scan the Code and check the information in your language.

日本語 · Español · Tagalog
English · Português · Bahasa Indonesia
简体中文 · ไทย · नेपाली
한국어 · Tiếng Việt · हिन्दी
繁體中文 · မြန်မာဘာသာ · বাংলা

監修／明星大学人文学部福祉実践学科
常勤教授　川松 亮

大田区
発行　令和8年8月

大田区にお住まいのみなさんへ こどもの 小さなサイン 受けとめて



© 大田区

子ども虐待防止
オレンジリボン運動®

「こどもへの虐待かな？」と思ったら
「間違いかも」とためらわず
相談・連絡（通告）してください

平日	おおた児童虐待対応ダイヤル ＃9924（キューキューツーホー） ※短縮ダイヤルが繋がらない場合は次の番号におかけください 03-5753-9924	対応時間 8：30～17：45
夜間 土日 祝日	児童相談所虐待対応ダイヤル 189（いちはやく）	緊急時は警察へ 110

こどもと家庭を地域全体で あたたかく見守っていきましょう



©大田区

「しつけ」と「虐待」の違い

「しつけ」とは、こどもの人格や才能などを伸ばし、将来、社会で自立した生活を送れるようにすることなどの目的から、こどもをサポートして社会性を育む行為です。

たとえ、しつけのためだと親が思っても、こどもの体や心を傷つけ、苦痛や不快感を引き起こす行為は、「虐待」にあたり、法律で明確に禁止されています。

気になる保護者の背景にあるもの

核家族化や地域とのつながりが希薄になっていることなどにより、相談する人がいないまま育児ストレスを抱えている保護者もいます。

そのような状況で、感情のコントロールが難しくなったり、こどもをどうしつけたらいいのかわからず悩んでいることもあります。

こどもとの関わり方が気になると感じるような心配な保護者を、「子育てに困っている親」という視点で捉えることも大切です。



あなたができること

自分と関係性がある人であれば、「困ったことがあったらいつでも相談してね」などと相手に声をかけることができるかもしれません。

突然声をかけることは難しい場合が多いので、隣近所の人と挨拶をする関係をつくることはできるかもしれません。挨拶から顔なじみになり、そこからできることが見つかるかもしれません。

そして、もしも虐待と思われる状況を発見したら、ためらわず連絡（通告）してください。

こどもへの虐待とは？

こどもの心や体を傷つけ健やかな成長や発達を損なう行為です。
次の４種類に分類されます。

身体的虐待

- 叩く、殴る、蹴る、突き飛ばす等の暴力行為をする
- やけどを負わせる
- 戸外に締め出す
- 閉じ込める、縛り付ける

など



心理的虐待

- 暴力的、差別的な言葉を使う
- 無視する、拒絶する
- こどもの目の前で配偶者等やきょうだいに暴力、暴言、無視などの行為をする
- きょうだい間で差別的な扱いをする

など



複合している場合もあります

ネグレクト

- 必要な衣食住の世話をしない
- 病気になっても受診させない
- 登園、登校をさせない
- こどもを家や車内に放置する
- 同居者の虐待を放置する

など



性的虐待

- 性交やわいせつな行為を行う、または見せる
- ポルノビデオや写真を見せる、被写体にする
- 入浴やトイレ、着替えを覗く

など



児童虐待のSOSのサインに気づいてください

こどもの場合

- □こどもの泣き声、悲鳴、叩くような音などが聞こえる
- □不自然な傷やあざがある
- □服装や体がいつも汚れている
- □夜遅くまで一人で遊んでいる
- □家の外に閉め出されている



保護者の場合

- □こどもの年齢に不相応な厳しいしつけ
- □こどもを置いたまま、よく外出している
- □こどもの前での夫婦喧嘩が多い
- □保護者がこどもの養育に関して拒否的・無関心



区の役割

区は、保護者のみなさんの子育てを支え、保護者のみなさんとともに、こどもたちを健やかに育成する責任があります。（児童福祉法第２条）

「お子さんに心配な様子がある」等の連絡が入った場合、状況の確認等のため、おおたこども家庭センター職員がご家庭に連絡や訪問を行うことがあります。（児童福祉法第 10 条）

地域のみなさんへ

地域のお子さんで**「心配だな」**と思ったら、迷わず**相談・連絡**してください。連絡は匿名でも構いません。連絡者や連絡内容に関する秘密は守ります。



おおた児童虐待対応ダイヤル

＃9924

（＃キューキューツーホー）

※短縮ダイヤルが繋がらない場合は

03-5753-9924

月曜日から金曜日
午前８時30分から午後５時45分まで

詳しくは
こちら

【夜間休日の相談窓口】

子育てや親子関係等のお悩みは…

「ギュッとチャット」　親子のための相談LINE

こどもに手が出てしまいそう、
子育てがつらい、そんなときは

189
（いちはやく）

おおたこども家庭センター（大田区こども未来総合センター内）



所 在 地　〒143-0015　大田区大森西２-３-22

アクセス　京急本線「平和島駅」から徒歩８分
京急バス「沢田通り」バス停から徒歩５分
京急バス「大森西二丁目」バス停から徒歩６分

おおた児童虐待対応ダイヤル

＃9924（＃キューキューツーホー）

短縮ダイヤルが繋がらない場合は

03-5753-9924

月曜日から金曜日
午前８時30分から午後５時45分まで

こどもと家庭に関する総合相談

03-5753-7830（ナヤミゼロ）

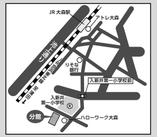
月曜日から金曜日
午前８時30分から午後６時まで
令和９年４月１日より午前９時から午後５時までになります

地図



大田区こども未来総合センター分館





子育て応援コーナー、相談室があります

電話番号　03-5753-1153（事業調整担当）

月曜日から金曜日
午前８時30分から午後５時15分まで

2026 年 10 月発行

おおた こども家庭センター



© 大田区

おおたこども家庭センター HP はこちら

おおたこども家庭センターは
こどもの健やかな成長のために総合的な子育て支援を進めています

QR Translator.

Scan the Code and check the information in your language.

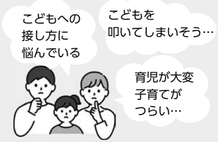
日本語	Español	Tagalog
English	Português	Bahasa Indonesia
简体中文	Tiếng Việt	ไทย
한국어	Tiếng Việt	ไทย
繁體中文	Español	ภาษาไทย

大田区

こどもと家庭に関する総合相談

保護者のみなさんへ

子育ての悩みやこどもとの関わり方で困っていることなど、一人で悩まずにご相談ください。



こどものみなさんへ

おうちのことなどで困っていること、不安なことなどあった時には、一人で悩まずに相談してください。



相談受付電話番号

03-5753-7830（ナヤミゼロ）

相談調整担当

月曜日から金曜日
午前８時30分から午後６時まで
令和９年４月１日より午前９時から午後５時までになります

詳しくは
こちら

おおたこども家庭センターの相談対応

子育ての不安や悩み、こどもと家庭に関する困り事や心配事がある際は、おおたこども家庭センターへ、まずお電話をください。

おおたこども家庭センターでは、電話、来所、訪問等、お子さまやご家庭の状況に合わせさまざまな方法で相談に対応しています。

電話相談で終了する場合もあれば、継続的にサポートする場合もあります。

ご相談の詳しい内容やご家庭の状況をお聞きし、おおたこども家庭センターのできること等をご説明します。



おおたこども家庭センターが実施している事業

子育てひろば

子育てひろばは、親子でゆったり過ごしながら、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場所です。親子での交流や情報交換もできます。出産を控えているママやパパも気軽に足をお運びください。

対象　0～3歳のお子さんと保護者
料金　無料　※詳細は右記二次元コードからご確認ください
電話

キッズな大森　03-6450-0011
キッズな洗足池　03-5754-7830
キッズな蒲田　03-5714-1152
キッズな六郷　03-6715-7830

✱子育てひろばでは「キッズな初めての子育て教室」や「キッズなパパの子育て応援講座」も実施しています。

子育て応援コーナー

子育てを応援するための情報展示コーナーです。お茶会・手作り会・読み聞かせ、手遊び、紙芝居・ベビーカーメンテナンスなどの子育てサロンなどの事業も実施しています。

料金　無料
時間　月曜日から金曜日
午前10時から午後５時まで



詳細

大田区若者サポートセンター フラットおおた

悩みを抱えたこども・若者を支援します。

相談…対面・電話・メール・チャット・オンラインによる相談ができます。
居場所支援…ふらっと立ち寄れるフリースペースを併設しています。

対象　区内在住・在勤・在学の15歳から39歳のこども・若者及びそのご家族
料金　無料
時間　月曜日から土曜日
午前９時から午後８時まで
第３土曜、日曜、祝日、年末年始は休館
電話　03-6451-8433

詳細

一時預かり事業

保護者の用事やリフレッシュ等の時に時間単位でお子さんをお預かりします。

対象　区内在住の生後５か月～就学前
料金　有料
時間　月曜日から土曜日
午前９時から午後６時まで
電話　キッズなルーム大森　03-5753-0805
キッズなルーム六郷　03-3733-1152
キッズなルーム蒲田　03-6424-8955
※蒲田は令和8年11月2日より運営開始

大森　六郷　蒲田
詳細

ファミリー・サポートおおた

育児のお手伝いをしてほしい方（利用会員）と地域で育児のお手伝いをしたい方（提供会員）の会員制の子育て支援です。
保育園等の送迎や保護者のリフレッシュ等の預かりなどでご利用いただけます。

料金　有料
受付時間　月曜日から土曜日
午前９時から午後６時まで
電話　03-5753-1152

詳細

ファミリー・アテンダント事業

見守り訪問…ご自宅を訪問し、玄関先で育児の様子をお伺いします。
伴走支援…地域のボランティアが保護者と一緒に家事・育児・外出をサポートします。

対象　生後６か月から12ヶ月の乳幼児（第１子）
料金　無料
電話　03-6410-8551



詳細

養育支援家庭訪問事業「ゆりかご」

乳児（出生から４か月健診受診日）のいるご家庭（育児の援助者がなく支援を希望する）に支援員が訪問し、沐浴の補助、通院・健診・地域へのお出かけの同行等をします。民生委員・児童委員等による支援です。

料金　無料
時間　月曜日から金曜日
午前8時から午後６時まで
電話　03-6410-8551

詳細

ショートステイ・トワイライトステイ・休日デイサービス

保護者の傷病、育児不安、出産、介護、冠婚葬祭、仕事等で一時的にお子さんをみることができないときに、宿泊、夜間、休日にお子さんをお預かりします。

対象　区内在住の２歳～15歳（中学生）まで
料金　有料　電話　【ひまわり苑】03-5737-1070
【コスモス苑】03-3751-3378

詳細

妊娠や子育て中の疑問やお悩みは、お住まいの地域の「こども家庭センター（大森、調布、蒲田、糀谷・羽田）」へ

妊娠中の体調や、産後の準備が心配
出産・育児について、家族にどう協力してもらえばいいか悩む
地域の子育て支援等の情報が知りたい
こどもの遊ばせ方やしつけが心配
など

＊身近な地域庁舎で、**保健**や**福祉**などの**専門的な知識**を有する職員に**相談**ができます＊

方法
窓口

電話


支援の特徴
妊娠期から出産後の子育て相談まで**切れ目ない支援**
区内や地域毎の子育て支援サービス等の情報提供


妊娠中の方やそのご家族、子育て中の方、こども本人からの相談もお待ちしています！


大森こども家庭センター（大森地域庁舎２階）……03-6423-0842
調布こども家庭センター（調布地域庁舎１階）……03-6425-7566
蒲田こども家庭センター（蒲田地域庁舎３階）……03-6424-5522
糀谷・羽田こども家庭センター（糀谷・羽田地域庁舎２階）……03-6423-8866

詳細はこちらの二次元コードからご確認ください



こどもと家庭の相談機関の役割の違い

各機関が、それぞれの強みを活かしながら、適時、連携しながらこどもと家庭を支援しています

こども家庭センター（大森、調布、蒲田、糀谷・羽田）
身近な地域庁舎で保健や福祉などの専門的な知識を有する職員が妊娠・出産から子育てに関する相談に応じます。

連携


おおたこども家庭センター
０歳からおおむね 18 歳までのこどもやその家庭が抱える問題に対し、地域のサービスやネットワークを活用し支援を行います。

連携


東京都大田児童相談所
児童福祉司、児童心理司などの専門スタッフが相談支援を行います。

これって虐待かも…

そう感じたら　ためらわず

キューキューツーホー

☎ #9924 にご連絡ください



©大田区



オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています

子ども虐待防止オレンジリボン運動

大田区　おおたこども家庭センター

キューキューツーホー

☎ 03-5753-9924（#9924）

Kawabata Ryushi Plus One | Collaboration with the Takahashi Ryutaro Collection: | Kondo Aki "I, and myself,"

大田区立龍子記念館
Ryushi Memorial Museum



高橋龍太郎コレクション連携企画 川端龍子
Plus One 近藤亜樹

I, and myself,

吾は、わたしは、



2026年11月21日[土] - 2027年1月24日[日] | 大田区立龍子記念館

November 21, 2026 – January 24, 2027 | Ryushi Memorial Museum

開館時間：9：00～16：30（入館は16：00まで）
休館：月曜日（11月23日[月・祝]、1月11日[月・祝]は開館し、その翌日に休館）年末年始（12月28日～1月4日）
入館料：一般1,000円、小中学生100円 ※65歳以上、未就学児及び障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料
主催：公益財団法人大田区文化振興協会
協力：高橋龍太郎コレクション、医療法人社団こころの会、NANZUKA
大田区立龍子記念館 〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1 | ハローダイヤル　050-5541-8600

えがく かなでる ひびく
公益財団法人 大田区文化振興協会

日本屈指のアートコレクターとして知られる精神科医・高橋龍太郎氏のコレクションとの連携で、高橋氏が注目する現代アーティストの作品を日本画家・川端龍子（かわばたりゅうし、1885-1966）の作品とともに展示するシリーズ企画展「川端龍子プラスワン」。本展の後期は2011年にデビューし躍動感あふれる筆づかいと力強い色彩の絵画で注目を集める現代アーティスト・近藤亜樹が出品します。

本展においては、近藤亜樹は新作として「自由になる虎の絵で、龍子であり、私でもあり、だれの心にも住む虎の絵」と語る《フライングタイガー》や《葡萄泥棒》（いずれも2026年、作家蔵）を出品するほか、高橋龍太郎コレクションからは、故郷・札幌で制作した《ふるさと》（2020年）や幅7.8メートルの大作《ウータン山》（2010年）等を展示します。さらに、人物や動物の様々な顔が表された近藤のドローイング作品が多数並びます。一方、川端龍子の作品は、太平洋戦争末期の破局的な状況への怒りを赤富士に表した《怒る富士》（1944年）や終戦直後の荒廃した国土を弱り切った龍に見立てた《臥龍》（1945年）、そして、温泉好きだった龍子が戦後復興期に理想の桃源郷をコミカルに描いた《翡翠（かわせみ）》（1951年）等を展示します。川端龍子の「吾（われ）」と近藤亜樹の「わたし」が時代を超えて向き合った時、生み出される作品同士の対話は、龍子記念館に新たな彩りを加えます。作品と対峙するうちに、その問いは鑑賞者自身の「わたし」へと重なり、広がっていくでしょう。龍子記念館という独特な空間に近藤がどのように対峙するのか、その試みも本展の見どころです。

また、記念館の向かいに保存されている旧川端龍子邸のアトリエ（1938年築・登録有形文化財）においては、近藤がダンボールで制作した立体作品を展示し、かつて龍子が制作に明け暮れた場所に残る息づかいや余韻を静かに浮かび上がらせます。


1


2


3

川端龍子 Kawabata Ryushi

1. 臥龍, 1945
2. 怒る富士, 1944
3. 酒房キウリ, 1956

大田区立龍子記念館蔵 Ryushi Memorial Museum

高橋龍太郎コレクション連携企画 **川端龍子**
Plus One **近藤亜樹**

吾は、わたしは、

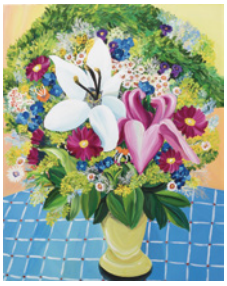
彼は日常で何をみて、何を感じて過ごしていただろう。
私は日常で何をみて、何を感じて過ごしているだろう。
同じ画家だけど、私は彼ではない。彼も私ではない。
真っ白な世界に自分が一本線を引いて、気持ちよく色を広げたら、
今日も1枚の絵ができた。
自分の内側に潜ったはずが、一周回って世界と繋がるから絵は面白い。
ある日、私は絵の中で彼と出会った。
「吾（われ）は、わたしは、」
生まれ落ちたこの世界で何を見つけて残しただろう。

（近藤亜樹）


4


5


6


7



8

近藤亜樹 Kondo Aki

4. 葡萄泥棒, 2026

作家蔵 Collection of artist

5. 母と子, 2017
6. 恋はキャンディ, 2015
7. やさしさに包まれて, 2020

高橋龍太郎コレクション
Takahashi Ryutaro Collection

8. 近藤亜樹像, 2026

作家蔵 Collection of artist
©Aki Kondo

関連イベント

高橋龍太郎×近藤亜樹トークイベント
2027年1月10日（日）18:00〜19:00　会場：展示室内
現代アートコレクターの高橋龍太郎氏と出品作家の近藤亜樹が本展について語り合います。

アトリエ内見学
会期中の金、土、日、祝日の11:30〜11:50、14:30〜14:50
龍子のアトリエに入って、室内の近藤亜樹の作品を鑑賞いただけます。（インターネットによる事前予約制・各回先着15名）

学芸員によるギャラリートーク
11月29日（日）、12月20日（日）、2027年1月17日（日）
各日13:00〜（40分程度）　会場：展示室内

龍子公園のご案内
隣接する龍子公園では、龍子設計のアトリエと旧宅をご覧いただけます。
開館日の1日3回　10:00、11:00、14:00から開門しご案内します。（30分程度）

お問い合せ
大田区立龍子記念館 | 〒143-0024　東京都大田区中央4-2-1
ハローダイヤル:050-5541-8600　記念館直通:03-3772-0680
https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/ryushi/

Opening Hours : 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)
Admission : Adults:1000yen, Minors:100yen
Children under 6 and seniors over 65 are free
Closing Days : Mondays (When a national holiday falls a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

当館へのアクセス
●ＪＲ京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番
「荏原町駅入口」行乗車「臼田坂下」下車、徒歩2分
●都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から
馬込桜並木通り（桜のプロムナード）に沿って徒歩15分

